

船舶交通の安全のために

千葉海上保安部港内交通管制室
港内交通管制官付



— 現在の仕事の内容はどのようなことですか？ —

私の所属する千葉海上保安部港内交通管制室は、航路に入出航する船舶に対して船舶交通の安全と運航能率の向上のために、港内交通の管制を行っています。船舶の入出航予定の通報を受け、計画を作成し、法で定められた大きさの船舶同士の航路内での行き合い（すれ違い）を制限する管制を行い、必要に応じて実際に船舶に対し、国際 VHF（無線）、船舶電話等を使用し、航行安全上必要な事項に関し情報提供を行なっています。

— 海上保安庁に入った動機やきっかけは何でしたか？ —

海上保安学校が授業料については、かからないこともありましたが、官庁ではありませんが、祖父がそうだった様に海に関わる仕事がしたいという希望があり受験しました。

— 海上保安庁に入って、印象に残っていることは何ですか？ —

これまで海上交通業務に携わり、海上交通センターや灯台、無線設備などの保守点検などに関ってきました。夜間、灯台が消灯してしまい真っ暗な岩場しかない様な島に渡船で上陸し、深夜まで復旧作業を続け、海上交通の安全に貢献できたことが印象に残っています。

— これから海上保安庁を希望する人達に一言 —

一口に海上保安官というと、いわゆる「海猿」や船艇の乗組員の様に海上で、というイメージになりがちですが、陸上で働く職員もいます。この様な多岐にわたる業務を実施する海上保安庁で、可能性を最大限生かせる場を探してみてもいいと思います。